

2011年(平成23年)11月28日(月曜日)

デジタル通信革命の舞台裏

内海善雄 前I-T-U事務総局長

3

シカゴ大学の授業は5月とができた。

末に全部終了したので、ヨーロッパを旅行して帰国することにした。1カ月間全ヨーロッパのファースト・クラスの列車に乗れるユーロパスという格安の切符を購入、夜行列車がホテル代わり。朝新しい都市に到着し、一日中その町を見学した夜、別の国行きの列車に乗る。こんな貧乏旅行でヨーロッパをくまなく回る

叱られた。

「数カ月も行方不明とは何事か、全ての人事異動はめが人事異動の季節で職員もう終わつたぞ」。1997年7月16日、海外出張抜けて待っている。私は、命令になつていた留学期間をどおりの日に出張から帰っ

て、常に要員が足りない困難局であった。

アルバイト職員も企業に採られて採用できず、苦しい局経営であったが、皆、助け合つて仕事をしていた。呼んでいたが、しかし、その

ら初めて責任あるポストについた。同局は、水島コンピナートの建設に伴つて業務が急拡大し、郵政省には、電電公社の監督を行う2人の電氣通信

3

翌74年7月、電氣通信監

60年代には、電電公社の

73年に電氣通信回線の一部

政策の希望の星「情報通信業」



通信行政の展望(通産省)

てきたのだが、その命令は2年前に出ている担当者も知らない。携帯電話もない

た。ところが、春闘で全通組合から違法ストライキ拠点局に指定され、ストを拒否する者と組合の指令に従う者との激しい相克が起きた。

要員不足の困難局

若手官僚のバイブルとなった「通信行政の展望」

翌年、同期の者に2年遅れで、岡山県の水島郵便局長に任命され、就職してか

人間ドラマの裏表を見る経験をした。たった1年間であったが、振り返ると何十

一方、米国では、連邦通信委員会(FCC)が存在し、政策の発案や関係者の

平松氏には、畏敬の念を持たずにはおれなかった。

(つづく)

話建設だけがすべての時代は終わった。

そんな中で、

富田徹朗氏や金光洋三氏

それらに関するノウハウも

ら、前記監督官の下若手官僚達は、「通信行政の展望」と名づけた小冊子を継

信監督官室は、毎年、局への昇格の予算要求も行って

手段、ノウハウなし

監督官室着任の1年前、